

# 広島県スポーツ推進計画の概要

## 1 計画の位置付け

この計画は、スポーツ基本法第10条の規定による「地方スポーツ推進計画」として策定するものであり、本県のスポーツ推進に関する施策の基本的方向と具体的方策を定める計画として位置付けます。

## 2 計画期間

10年後の「目指す将来像」を見据えた前半5年間の計画として、計画期間を平成26年度から平成30年度までとします。

## 3 基本理念と目指す将来像

### 基本理念

～ 日本で一番スポーツを身近に楽しめる広島県の実現 ～

スポーツは、年齢や性別、障害の有無などにかかわらず、県民が生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を営む上で欠かせないものです。10年後の「目指す将来像」をイメージしてスポーツを身近に楽しめる環境を整えることによって、県民一人一人がスポーツを通じて幸せと豊かさを実感できる、元気で活力のみなぎる広島県を実現し、全国をリードしていく存在を目指します。

### 目指す将来像

#### ■ 地域スポーツ

広島県では、あらゆるスポーツが普及しており、県民がそれぞれの生活環境、趣味、体力に応じたスポーツを選び、身近に楽しんでいる。

#### ■ 競技スポーツ

広島県では、多くの有望なジュニアアスリートが育っている。そして、本県ゆかりの多くのアスリートが国際大会や全国大会で活躍し、県民は、アスリートをこぞって応援し、夢と感動を享受している。

### 施策の方向性

#### I 地域スポーツの推進

障害者を含めた「幼児期」、「児童・生徒期」、「成人期」、「高齢期」の各ライフステージに応じた施策展開

#### II 競技スポーツの推進

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定を契機とする、トップアスリートの発掘、育成・強化までの体系的・戦略的な施策展開

### 地域スポーツ・競技スポーツを支える施策

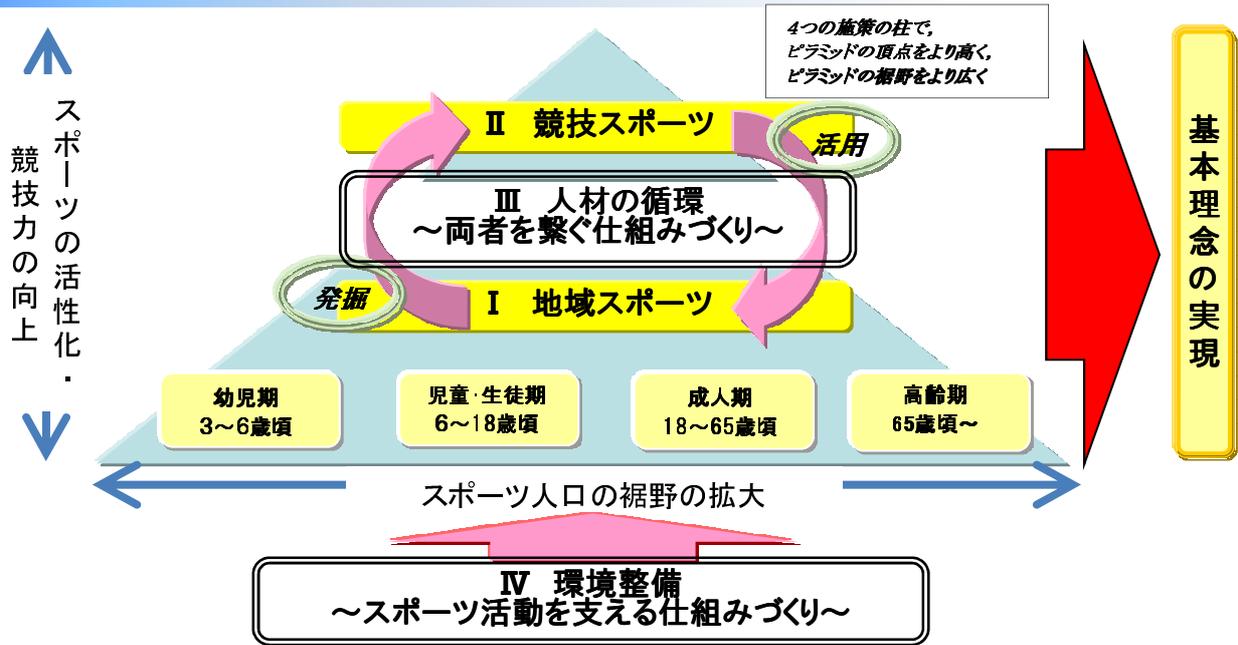
#### III 人材の循環

広島から輩出したアスリートが、引退後は広島で指導者となり、新たなアスリートを育てる「好循環の構築」の検討

#### IV 環境整備

スポーツ活動を支える体制づくり、多様なスポーツの場づくり、スポーツを通じた広島の活力づくり

## 【計画のイメージ】



## 4 施策推進にあたって踏まえるべき課題と対応方針

### 前回計画の成果と課題

| 指標名   | 当初値<br>(年度)              | 目標値              | 実績<br>(年度)               | 主な課題                  |
|---|--------------------------|------------------|--------------------------|-----------------------|
| 成人の週1回以上のスポーツ実施率                            | 38.2%<br>(H17)           | 50%              | 33.3%<br>(H25)           | スポーツ実施の機会・仲間の拡大       |
| 総合型地域スポーツクラブの育成市町<br>(育成クラブ数)               | 14市町<br>(27クラブ)<br>(H17) | 全23市町<br>(50クラブ) | 20市町<br>(36クラブ)<br>(H25) | 指導者・推進役の確保            |
| 本県の児童生徒の体力・運動能力調査結果が全国平均と比較して同じか上回っている種目の割合 | 51.5%<br>(H17)           | 75%              | 69.6%<br>(H25)           | 運動・遊びの習慣化<br>学校の指導力強化 |
| 国民体育大会総合順位                                  | 9位<br>(H17)              | 8位以内             | 15位<br>(H25)             | 少年の部の成績向上             |

### 新計画における対応方針

#### ■ ライフステージに応じたスポーツ活動への取組の推進

- ねらい
- 世代ごとに異なる課題にきめ細かく対応し、スポーツ実施率を向上
  - 家族ぐるみでスポーツに取り組む環境を創出し、スポーツ実施を習慣化

#### ■ ジュニア期からトップレベルに至るまで体系的・戦略的なアスリートの育成

- ねらい
- 発掘した選手を継続的に指導する体制を構築し、確実にトップアスリートを育成
  - 高度で専門的な指導、スポーツ医・科学の活用により、ジュニア選手の競技力を強化

#### ■ アスリートを地域や学校で受け入れ、活用できる仕組みの構築

- ねらい
- アスリートを活用することにより、優秀な指導者を確保
  - トップアスリートの技術や経験等を地域に還元することで、次世代アスリートを発掘、育成・強化する好循環の創出
  - 現役引退後、指導者として育成・資質向上を図り、アスリートを持続的に活用できる場を創出

#### ■ ハード・ソフト両面の環境整備

- ねらい
- 人材の養成、スポーツ施設の整備・充実、スポーツに参画する機会の創出など、スポーツ活動を支えるハード・ソフトの両面を整備

## 5 重点的な取組

### ジュニア選手の育成

ジュニア選手の発掘、育成・強化を体系的・戦略的に推進します。

- 基礎的運動能力の1つである「走る」ことをきっかけとして、スポーツへの関心を高め、体力・運動能力を向上
  - ・ 本県ゆかりのアスリートを活用した「走り方教室」の実施
  - ・ 学校教育活動における「かけっこ」を活用した指導の充実(指導マニュアル作成など)
- 早期に子供の適性を見極め、専門的な指導を行う体制の構築
  - ・ スーパージュニア選手の発掘・育成(運動適性テスト、体験・専門プログラムの実施)
  - ・ 運動部指導者の計画的な配置、外部指導者の派遣による指導体制の充実
- 優秀な指導者の確保
  - ・ トップアスリートを活用し、次世代アスリートを発掘、育成・強化するとともに、アスリート自身を指導者として育成
- スポーツ医・科学の知見を活用した育成
  - ・ 保護者を含めた栄養・食生活指導、スポーツ障害の防止 等

#### 【成果目標】

・体力合計点の全国1位を目指す  
(H25の全国とのポイント差:小5男子221、小5女子276、中2男子238、中2女子287)  
・小5の50m走の県平均タイムにおいて全国1位を目指す  
(H25:男子10位、女子17位)

### 東京オリンピック・パラリンピック対策

2020年(平成32年)東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、競技力の向上を図り、オリンピックに本県ゆかりの選手を前回東京大会以上に輩出することを目指します。

- 選手発掘・強化対策
  - ・ スーパージュニア選手の発掘・育成(運動適性テスト、体験・専門プログラムの実施)
  - ・ 県内外での強化合宿、全国トップレベル団体との合宿の実施
  - ・ 有望なジュニア選手の海外遠征費等の支援
  - ・ 県立高等学校体育科、競技力向上拠点校への支援
- 障害者スポーツの競技力強化
  - ・ 競技団体の組織化に向けた取組を実施
- 関連事業
  - ・ 事前合宿の誘致支援などによるスポーツを核としたまちづくり

#### 【成果目標】

・東京オリンピック競技大会に本県ゆかりの選手を23人以上輩出することを目指す  
(1964年/東京大会以上)  
・国民体育大会男女総合成績において8位以内の入賞

### スポーツ医・科学資源の活用

広島大学病院スポーツ医科学センター等を活用し、選手への総合的なサポート体制を構築し、競技力の向上を図ります。

- 体制構築
  - ・ 広島大学病院スポーツ医科学センター、健康・体力サポートセンター(県立総合体育館)、スポーツ医・科学委員会(県体育協会)が相互に連携する仕組みづくりの検討
- 知見の還元による選手育成、指導者養成
  - ・ 効果的なトレーニング方法の普及
  - ・ 栄養・食生活に関する指導
  - ・ スポーツ障害の防止に関する指導
  - ・ ドーピング防止に関する教育・研修
  - ・ 競技大会へのスポーツドクターの帯同

## 6 施策と成果目標

### I 地域スポーツの推進

| 基本施策                                | 主な具体的施策   | 成果目標   |
|-------------------------------------|---|--|
| 1 幼児期[3～6歳頃]:体を動かす遊びの習慣づくり          | 市町等が行う、親子で気軽に参加できるスポーツイベント・教室などの開催の支援<br>市町等が行うイベント等を活用して、家庭や地域に対し「外遊び」の重要性等の啓発活動を実施<br>市町等と連携し、幼稚園教諭や保育士を対象とした運動や遊びの指導方法等に関する研修の実施                               | 運動・スポーツを「する」小学1年生の児童の割合を100%に近づける。<br>(H25:男子:88.8%,女子:83.4%→H30:95%以上)<br>【広島県児童生徒の体力・運動能力調査】   |
| 2 児童・生徒期[6～18歳頃]:体力・運動能力向上とスポーツの習慣化 | アスリートを活用した走り方教室の開催<br>教員の指導力の向上や体育科・保健体育科の授業の質の向上を図るため、学校教育研究会等の開催や指導マニュアルの作成<br>運動部指導者の計画的な配置, 外部指導者の派遣による指導体制の充実<br>学校へトップアスリートや地域の競技経験者を派遣し、スポーツイベントやスポーツ教室を開催 | ・体力合計点の全国1位を目指す。<br>(H25の全国との差:小5男子2.21ポイント・小5女子2.76ポイント, 中2男子2.38ポイント・中2女子2.87ポイント)【全国体力・運動能力, 運動習慣等調査】<br>・小学5年生の「50m走」の県平均タイムにおいて、全国1位を目指す。<br>(H25:男子10位, 女子17位)【全国体力・運動能力, 運動習慣等調査】 |
| 3 成人期[18～65歳頃]:スポーツ活動に参画する機会の拡充     | 県内のスポーツに関するあらゆる情報を発信するウェブサイトの開設, マップの作成<br>総合型地域スポーツクラブ等により、身近な場所で親子一緒に参加できるスポーツイベントや親子スポーツ教室などの開催<br>ロコモティブシンドローム予防のための運動習慣に関する広報等の実施                            | 週1回以上のスポーツ実施率を「2人に1人」の割合にする。<br>(H25:3人に1人→H30:2人に1人)<br>【広島県民の運動・スポーツに関する意識調査】  |
| 4 高齢期[65歳頃～]:いきいきと豊かな暮らしにつながるスポーツ活動 | 市町やスポーツ団体などと連携して、軽い運動を行う教室やニュースポーツの大会などの実施<br>市町やスポーツ団体などと連携して、健康づくりのイベントや各種スポーツイベントの開催<br>年齢に応じていつでも気軽に行える体操の開発, メディアを活用した普及啓発                                   | 週1回以上のスポーツ実施率を「3人に2人」の割合(65%)にする。<br>(H25:2人に1人→H30:3人に2人(65%))<br>【広島県民の運動・スポーツに関する意識調査】  |
| 5 障害者:スポーツ活動に参画する機会の創出              | 県内のスポーツ情報を発信するウェブサイトの開設やマップの作成<br>各種スポーツの出前教室の開催<br>障害のある人もない人も一緒に楽しめるスポーツの普及促進   | 障害者スポーツ指導員養成者数を560人以上にする。<br>(H25:420人→H30:560人以上)   |

### II 競技スポーツの推進

| 基本施策                           | 主な具体的施策  | 成果目標  |
|--------------------------------|--|---|
| 1 次世代のトップアスリートの発掘              | 早期に子供の適性を見極め、専門的な指導を行うプログラムの実施<br>小学生から高校生を対象とした各競技団体主催のスポーツ教室・競技会の開催を支援   |   |
| 2 トップレベルに至る体系的・戦略的なアスリートの育成・強化 | 県体育協会や競技団体, 小学生体育連盟などと連携し、一貫した育成・強化体制の構築<br>運動部指導者の計画的な配置, 外部指導者の派遣による指導体制の充実<br>県内外での強化合宿, 全国トップレベルの団体などとの合宿を支援<br>有望なジュニア選手の海外遠征費等を助成<br>県立高等学校体育科(広島皆実高等学校, 神辺旭高等学校)への支援<br>県立高等学校競技力向上拠点校を指定し、競技力の高い生徒の県外流出を防止<br>アスリートをカウンセラーとして学校へ派遣し、進路等に関するアドバイス・助言の実施 | ・2020年東京オリンピック競技大会に本県ゆかりの選手を23人以上輩出することを目指す。(1964年/東京大会以上)<br>・国民体育大会男女総合成績において、8位以内の入賞<br>(H25:総合15位→総合8位) |
| 3 障害者の競技スポーツにおけるアスリートの育成       | 障害者スポーツ団体などを通じ、将来性のある選手の発掘・育成<br>県内のスポーツ情報を発信するウェブサイトの開設やマップの作成<br>スポーツ指導者養成講習会の開催<br>障害者スポーツの競技団体の組織化に向けた取組の実施  |   |
| 4 スポーツ医・科学を取り入れた効果的な競技力向上      | 県体育協会の「スポーツ医・科学委員会」と連携し、県内にあるスポーツ医・科学資源を活用したサポート体制の整備<br>県体育協会の「スポーツ医・科学委員会」などと連携し、メディカルチェックや栄養・食生活に関する指導, スポーツ障害の防止や効果的なトレーニング方法などの普及や、ドーピング防止に関する教育・研修の実施  |   |

### Ⅲ 人材の循環

| 基本施策                  | 主な具体的施策  | 成果目標   |
|-----------------------|--|--|
| 1 次世代のトップアスリートの発掘【再掲】 | 早期に子供の適性を見極め、専門的な指導を行うプログラムの実施                           | ・2020年東京オリンピック競技大会に本県ゆかりの選手を23人以上輩出することを目指す。(1964/東京大会以上)【再掲】<br>・国民体育大会男女総合成績において、8位以内の入賞【再掲】(H25:総合15位→総合8位) |
|                       | 小学生から高校生を対象とした各競技団体主催のスポーツ教室・競技会の開催を支援                   |  |
| 2 トップアスリートなどの活用促進     | トップアスリートを、総合型地域スポーツクラブや学校などの指導者として積極的に活用                 |  |
|                       | 現役引退後のキャリアに必要な教育や職業訓練等の情報提供                              |  |
| 3 循環的な指導・育成システムの構築    | 企業や大学、スポーツ団体などと連携し、県内外在住のトップアスリートを指導者として育成・活用する仕組みづくりの検討 |  |
|                       | 教員採用特別選考枠の創設の検討  |  |

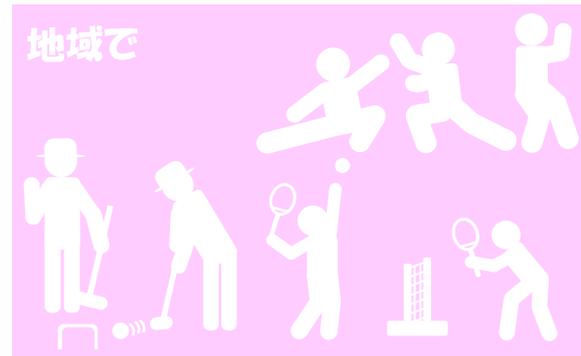
### Ⅳ 環境整備

| 基本施策   | 主な具体的施策   | 成果目標  |
|--|---|---|
| 1 スポーツ活動を支える人材の養成・充実                         | 運動部指導者がスポーツ医・科学の知識やコーチングスキルなどを習得する研修会・講習会の実施                          | ・総合型地域スポーツクラブが全市町において1以上設置されること。(H25:20市町→H30:全市町)<br>・障害者スポーツ指導員養成者数を560人以上にする。(H25:420人→H30:560人以上)【再掲】 |
|  | スポーツイベントの運営、総合型地域スポーツクラブやスポーツ団体の運営などを支えるボランティアの発掘・登録                  |   |
|  | 障害者スポーツ団体と連携し、指導員の養成研修の実施やボランティアを発掘・登録                                |   |
| 2 コミュニティの中心となる総合型地域スポーツクラブの育成促進と活動の活性化に向けた支援 | クラブのNPO法人格の資格取得に向けた研修会の実施   |   |
|  | 県体育協会などと連携し、各種スポーツ指導者の紹介  |   |
|  | 県体育協会と連携し、クラブ交流スポーツ大会を開催  |   |
| 3 スポーツを通じたネットワークづくり                          | スポーツ関係団体が、スポーツ施設やスポーツ指導者、スポーツボランティアなど、スポーツに関するあらゆる情報を共有するためのネットワークづくり |   |
|  | 学校や総合型地域スポーツクラブと地域社会の連携によるジュニア選手の応援体制の構築                              |   |
|  | 地元の企業や大学が保有する指導者などの人材やスポーツ施設、蓄積されているスポーツ医・科学の研究成果などの共有・活用             |   |
|  | プロスポーツや企業スポーツのチームを活用した、指導者研修会の実施                                      |   |
| 4 地域のスポーツ施設の充実と利用促進                          | 県立のスポーツ施設の耐震化やバリアフリー化などの実施  | 県立のスポーツ施設(県立総合体育館、県総合グラウンド、県立びんご運動公園、県立みよし公園)利用者数の増加(363万人(H24)以上)  |
|  | 学校体育施設の休日の一般開放や、開放時間帯の弾力化、予約手続きの簡素化                                   |   |
|  | 県立のスポーツ施設の子供の施設使用料の減額又は免除日の設定   |   |
| 5 スポーツ活動の拠点づくり                               | 県立スポーツ施設(県立総合体育館、県総合グラウンド、県立びんご運動公園、県立みよし公園)の施設設備の機能維持・充実             |   |
|  | 県総合グラウンドのあり方検討  |   |
|  | アスリートがトレーニングや競技に専念できる施設の誘致や設置に向けた取組の実施                                |   |
| 6 豊かな自然、優れたスポーツ資源を活かした活力づくり                  | トップス広島に参加しているチームの試合情報の提供  | トップス広島ホームゲーム観戦者数の増加   |
|  | 全国レベル、国際レベルの大会などの誘致・開催  |   |
| 7 スポーツを核とした地域づくり、新たな魅力づくり                    | 市町等と連携し、県外の企業のスポーツチームや大学生・高校生のスポーツ合宿などを誘致                             | オリンピック・パラリンピックの事前合宿の誘致  |
|  | 市町等と連携し、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿などの誘致活動を支援                           |   |
|  | 新たなプロスポーツの支援に向けた地域の一体感の醸成   |   |

# 東広島市スポーツ推進計画

スポーツで地域を創るまち東広島

## 概要版



## 東広島市スポーツ推進計画とは

「東広島市スポーツ推進計画」とは、スポーツ基本法第 10 条に基づく「地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画（地方スポーツ推進計画）」です。

本市では、これまで「東広島市スポーツ振興計画（平成 19 年度～平成 28 年度）」に基づき、スポーツ振興の諸施策を展開してまいりました。このたび、これまでの取組の見直しを行い、今後の東広島市のスポーツ振興施策の一層の充実を図ることを目的に、「東広島市スポーツ推進計画（平成 29 年度～平成 38 年度）」を策定しました。

平成 29 年 3 月  
東広島市教育委員会





## 計画が目指す姿と体系

本計画では「スポーツで地域を創るまち東広島」を基本理念とし、「いつでも」運動やスポーツに参加できる機会の充実、「どこでも」スポーツを楽しめる場所や人の確保、生涯を通じて「だれでも」楽しめるスポーツ機会の充実を通して、「地域で」活発に運動・スポーツを楽しむことにより生まれる地域のつながりを活かしたスポーツによるまちづくりをめざします。

### 基本理念

# スポーツで地域を創るまち東広島

### 目指す将来像

- ① 子どもから高齢者まで、いつでもスポーツを始め、楽しめるまち
- ② 東広島市のどこで暮らしていても、スポーツに親しめる機会を得られるまち
- ③ 年齢や心身の能力、障害の有無にかかわらず、だれでもスポーツを楽しめるまち
- ④ 地域スポーツを推進し、みんなで誘いあってスポーツができる仕組みがあるまち

### 取組の方向性

#### 方向性1 いつでもスポーツ

- スポーツ行事等の開催
- ライフスタイルに応じたスポーツの促進
- 健康目標を踏まえたスポーツの促進

#### 方向性2 どこでもスポーツ

- スポーツ施設等の維持・整備
- 学校体育施設等の利用促進
- 指導者等の育成・支援
- スポーツに関する情報の提供

#### 方向性3 だれでもスポーツ

- 幼児期からの運動・スポーツの推進
- 競技スポーツの振興
- 高齢者の運動習慣づくり
- 障害のある人のスポーツ促進
- ライフステージにあわせたスポーツの促進

#### 方向性4 地域でスポーツ

- 地域団体等への支援
- スポーツボランティア活動の推進
- スポーツによる交流の推進



# 運動・スポーツに関する市民意識の状況

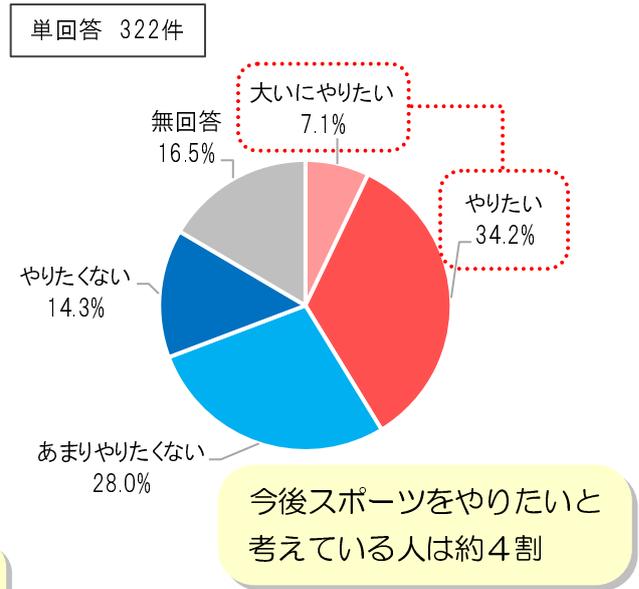
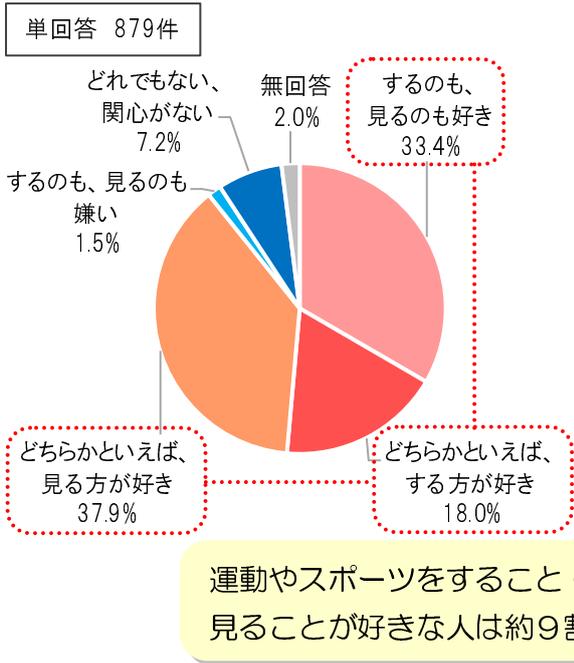
(平成 28 年「東広島市スポーツ活動に関する市民アンケート調査」の結果より抜粋)

市民の多くが運動・スポーツについて「好き」と回答しています。現在運動・スポーツをしていない人も含め、市全体で気軽に運動・スポーツに関われる機会を充実し、市民生活に運動・スポーツ習慣が根付くよう取り組むことが大切です。

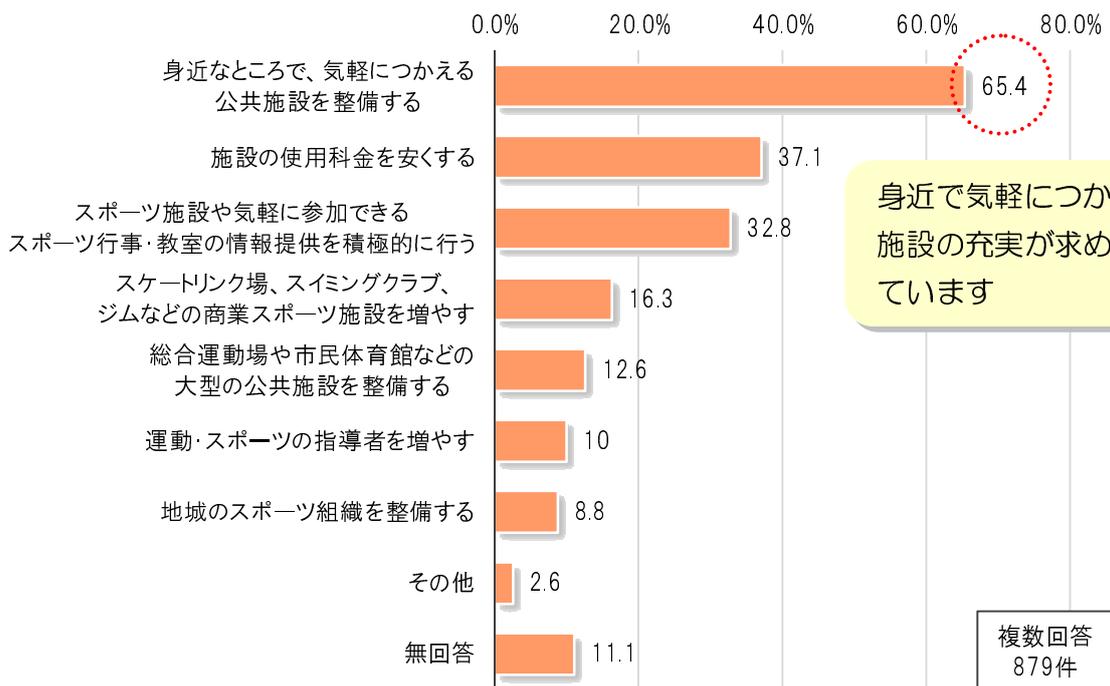
■ あなたは運動やスポーツが好きですか。

(現在、運動・スポーツをしていない人のみ回答)

■ 今後、運動・スポーツを始めたいと思いますか。



■ 将来、東広島市のスポーツ振興に関して重要と思うことは何ですか。





# 施策の方向性と具体的な取組

## 方向性1 いつでもスポーツ

運動やスポーツを楽しんでいる人々は、健康を保つこと、競技へ参加すること、競技を観戦することなど、それぞれの目的や趣味・趣向に沿って様々なスポーツに触れ、楽しんでいます。

市民の運動やスポーツへの関心が高められるよう、いつでも様々なスポーツに触れられる機会を充実していくとともに、実際に運動やスポーツに気軽に参加し習慣づけられる仕組みづくりを目指します。

### 1 スポーツ行事等の開催

市民参加型のスポーツイベントやスポーツ教室などの行事を積極的に開催するとともに、その広報・周知を広め、市民が身近にスポーツと触れ合い、楽しめる機会を創出します。

**【主な事業】**

- 各種スポーツイベントの実施
- 各種スポーツ教室の実施
- スポーツイベント等の周知の徹底

### 2 ライフスタイルに応じたスポーツの促進

近年のライフスタイルの多様化を踏まえ、早朝や夜間など、時間帯による制限を極力受けずにスポーツを楽しむことができる機会の創出に取り組みます。

**【主な事業】**

- ライフスタイルに応じた参加しやすいスポーツ機会の創出
- 特別な場所を必要としないスポーツの促進

### 3 健康目標を踏まえたスポーツの促進

生涯を通じて、それぞれのレベルに応じて適切な目標を持ち、その目標に向かって意欲的に取り組むための支援を行うことでより一層健康的で、効果的なスポーツへの参加を促進します。

**【主な事業】**

- 各種健康づくり運動教室の実施
- 各種出前講座の実施
- スポーツ医学・スポーツ科学を取り入れたトレーニングの促進

## 目標指標

| 指標名                                | 現状      | 目標値 (H38) |
|------------------------------------|---------|-----------|
| 週1日以上スポーツや運動を行っている人<br>(※18歳以上の市民) | 35.6%   | 50%以上     |
| 市主催のスポーツイベント参加人数                   | 22,695人 | 25,000人以上 |

## 方向性2 どこでもスポーツ

市民が運動やスポーツを実践していくうえで、スポーツのやり方について教えてくれる「人材」やスポーツを行える「場所」が確保されていることが重要です。

そのため、スポーツの楽しさを伝えられる指導者等の育成や、いつでも気軽に運動やスポーツを楽しめる施設・設備の確保と充実に取り組んでいきます。

### 1 スポーツ施設等の維持・整備

市民が身近に運動・スポーツに親しむことができ、競技スポーツの発展につながるよう、スポーツ施設の整備や利用しやすい魅力的な施設づくりに取り組みます。

【主な事業】

- 市内スポーツ施設の整備検討と修繕・更新
- 東広島運動公園の拡張整備
- 施設の利用調整と有効活用
- 施設の予約・利用手続きがしやすい仕組みづくり
- 指定管理者制度の活用による施設の管理・運営

### 2 学校体育施設等の利用促進

学校教育活動に支障のない範囲で、小・中学校の体育施設を一般に開放し、暮らしに身近な施設で気軽にスポーツを楽しめるよう取り組みます。

【主な事業】

- 学校体育施設の一般開放及び利用促進

### 3 指導者等の育成・支援

運動・スポーツ活動の普及に向けて、「スポーツを支える人材」の計画的な育成・支援に取り組みます。

【主な事業】

- スポーツ推進委員の委嘱と研修会の開催
- 関係団体との連携による指導者の育成
- 指導者等の活躍の場づくり
- スポーツ事故の防止など、安全なスポーツ活動の推進

### 4 スポーツに関する情報の提供

市民がスポーツに興味・関心を持ち、スポーツ活動に積極的に取り組むことができるよう、様々な媒体を活用した情報提供を行います。

【主な事業】

- 行事・イベントの参加につなげる効果的な情報発信
- 庁内関係課における情報共有と施策検討

## 目標指標

| 指標名               | 現状        | 目標値（H38）    |
|-------------------|-----------|-------------|
| スポーツ施設利用者数        | 294,828 人 | 310,000 人以上 |
| 学校体育施設開放事業の年間利用人数 | 411,779 人 | 430,000 人以上 |

## 方向性3 だれでもスポーツ

市民の誰もが、体力や年齢、障害の有無などに関わらず、それぞれが持つ興味や目的に応じて、自分の希望するスポーツに参加し親しむことができるよう、関係機関等とも連携し、ライフステージに応じたスポーツ・レクリエーションの推進に取り組めます。また、幼児期から運動やスポーツに触れ、生涯を通じてスポーツを楽しむ人が増えるよう、スポーツと接する機会の充実を図ります。

### 1 幼児期からの運動・スポーツの推進

児童・生徒の体力向上や運動部活動の活発化をめざし、学校・家庭・地域の連携のもと、主体的に外遊びやスポーツを親しむ子どもの育成を推進します。

#### 【主な事業】

- 運動・スポーツの機会の提供
- 基本的な生活習慣の確立に向けた啓発
- 体力づくり改善計画の作成指導
- スポーツに興味・関心をもたせるための取組の充実
- 児童・生徒の運動習慣の定着
- 指導力向上に向けた指導体制の充実
- スポーツ活動・運動部活動の活性化

### 2 競技スポーツの振興

競技スポーツ人口の拡大や、競技力の維持・向上に向けた仕組みづくりを推進します。

#### 【主な事業】

- 競技人口の拡大に向けた事業展開
- トップアスリートへの支援

### 3 高齢者の運動習慣づくり

高齢者が無理なく日常的に取り組むことができ、健康維持につながる軽運動、スポーツ活動の実施と参加促進に取り組めます。

#### 【主な事業】

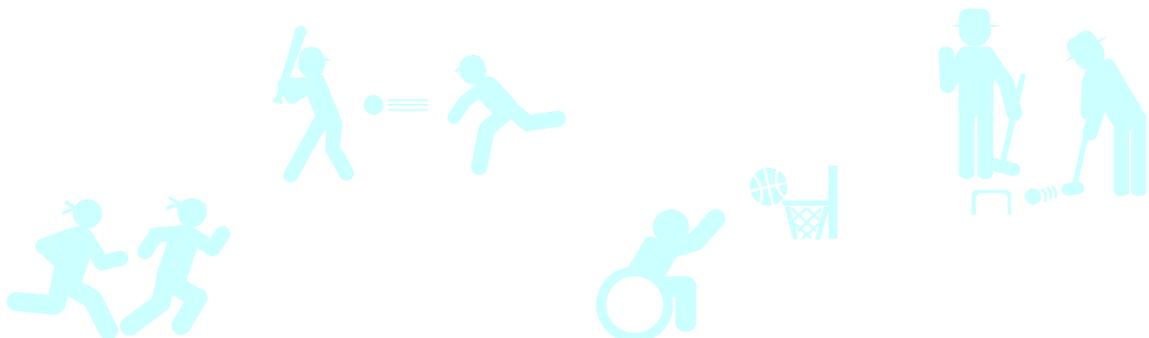
- 軽運動・スポーツ活動の推進
- 健康づくりに関する意識啓発
- 通いの場・生きがい活動への参加促進

### 4 障害のある人のスポーツ促進

障害のある人の障害の種類や程度に応じた配慮をした運動・スポーツのプログラムや設備の充実を図り、自主的かつ積極的な運動・スポーツへの参加を促進します。

#### 【主な事業】

- 障害者スポーツの周知・啓発
- 障害者スポーツ教室の充実
- 障害者スポーツの設備の確保
- スポーツを通じた交流の推進
- 障害者スポーツ大会への参加支援



## 5 ライフステージにあわせたスポーツの促進

幼児期から高齢期までさまざまな年代で体力の維持・向上に取り組める運動・スポーツ活動の普及に取り組みます。

### 【主な事業】

- 各種スポーツ団体の育成
- ライフステージに応じた運動・スポーツの機会づくり
- 健康づくり活動の推進

## 目標指標

| 指標名   |             | 現状         | 目標値 (H38)    |
|---|-------------|------------|--------------|
| 「全国体力・運動能力、<br>運動習慣等調査」<br>体力合計点の全国トッ<br>プ県との比較 | 小学校第5学年(男子) | +1.53 ポイント | +0.40 ポイント以上 |
|   | 小学校第5学年(女子) | +0.73 ポイント | +0.40 ポイント以上 |
|   | 中学校第2学年(男子) | +2.13 ポイント | +2.40 ポイント以上 |
|   | 中学校第2学年(女子) | +2.03 ポイント | +2.00 ポイント以上 |

## 方向性4 地域でスポーツ

地域には様々なスポーツ活動を行っている団体があり、スポーツを通じた交流や生きがい活動に取り組んでいます。こうした活動は、地域の一体感の醸成や活性化につながることを期待されます。

地域で行われているスポーツ活動について、広く市民に広報・啓発し参加を促していくとともに、団体と行政の連携や団体間の連携など協働の取組が行える仕組みづくりを目指します。

### 1 地域団体等への支援

地域では様々なスポーツ活動が展開されており、身近な場所でスポーツに参加できる機会や場が増えつつあります。今後も地域で活動する団体等への支援を行い、地域におけるスポーツの活性化を図ります。

また、総合型スポーツクラブに関する地域での認知度を高めるため、情報提供を行うとともに、クラブ設立に向けた支援を行います。

#### 【主な事業】

- 地域でスポーツについて学べる場の提供
- 関係団体と連携した地域スポーツの推進
- 体育協会等への支援
- 各種団体における講演会等の情報提供

### 2 スポーツボランティア活動の推進

地域におけるスポーツ活動の活性化を目指し、スポーツボランティアなど地域のスポーツ活動を担うボランティアの育成・支援を進めます。

#### 【主な事業】

- スポーツボランティアに関する情報提供とボランティアの育成
- スポーツボランティア活動の場の提供

### 3 スポーツによる交流の推進

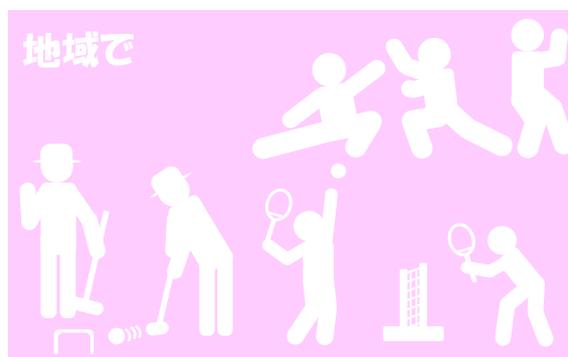
スポーツを通じて地域への愛着や一体感の醸成が図れるようスポーツによる交流・連携を進めます。また、2020年に開催となる東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運の醸成や、スポーツと観光が連携したスポーツツーリズムに取り組みます。

#### 【主な事業】

- スポーツを通じた地域交流
- オリンピック・パラリンピックキャンプ地の誘致の推進
- ニュースポーツの普及・振興
- スポーツツーリズムの促進

#### 目標指標

| 指標名                              | 現状     | 目標値（H38） |
|----------------------------------|--------|----------|
| 1年間に市や地域の運動・スポーツ行事に参加したことがある人の割合 | 14.0%  | 25.0%以上  |
| 東広島市スポーツ少年団指導者・団員数               | 1,745人 | 1,850人以上 |
| 総合型地域スポーツクラブ設置数                  | 1箇所    | 2箇所以上    |



#### 東広島市スポーツ推進計画 概要版

発行年月：平成29年3月      発行：東広島市教育委員会 生涯学習部 スポーツ振興課  
 問合せ先：〒739-8601 東広島市西条栄町8番29号  
 TEL：082-420-0978      FAX：082-422-6540  
 編集協力：(株) ジャパンインターナショナル総合研究所